

第3回 水稻病虫害発生予察情報 令和6年7月24日調査

調査機関：神戸市西農業振興センター、神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部
兵庫県農業共済組合、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行：JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

【7月24日(水) 病虫害発生状況】

病虫害 雑草	発生 程度	発生 予想	薬剤	10a 当り 使用量	使用時期	使用方法	使用 回数
カメムシ類	少	並	スタークル 粒剤(※)	3kg	収穫7日前まで (出穂してから5日 前後が効果的)	散布(ひた ひた水～ 3cm)	3回 以内
セジロウンカ	少	並	スタークル 豆つぶ(※)	250g (カメムシ類) 250～500g (ウンカ類、 ツマグロヨコバイ)	収穫7日前まで (出穂してから5日 前後が効果的)	散布(湛水 3～5cm)	3回 以内
ヒメトビウンカ	少	やや 多い					
紋枯病	少	並	モンカット粒剤	3～4 kg	出穂30～10日 前、但し収穫14 日前まで	湛水散布	4回 以内

(※)スタークルは「粒剤」か「豆つぶ」どちらかを選択して下さい。

《カメムシ類》

今回の調査で一部の地域にて発生が確認されています。**出穂2週間前までに畦畔の草刈り**をして下さい。出穂5～7日後に「スタークル粒剤、豆つぶ」等で防除をして下さい。また県内で、イネカメムシの発生が確認されております。当地区での発生は確認されていませんが、ご注意ください。※例年、等級落ちの原因の上位は「カメムシ被害」です。

《紋枯病》

今回の調査で一部の地域にて発生が確認されています。茎数が多いと風通しが悪くなり発生が助長されますので、圃場をよく観察して早期発見に心がけましょう。

※特に前年に紋枯病の発生が多かった圃場は、今年も発生の恐れがあるため注意が必要です。

《トビイロウンカ》

今回の調査では飛来は確認されておませんが、**加西市の予察灯で、過去10年で1番早い飛来が確認されました。**過去に甚大な被害がありましたので、今後もご注意下さい。

出穂前後の水管理

- ①出穂1カ月前には、中干しを終わらせましょう！
- ②中干し後は、間断湛水を行い、根に酸素を供給しましょう！
- ③出穂前後(出穂前1週間～出穂後1週間)は稲が水を必要とするので、湛水管理をしましょう！(高温時は、水を入れ替えて下さい)

早期落水は未熟粒・死米・乳白・胴割れの原因となるため注意！！！！

日中の作業はできるだけ避け、水分補給をしっかりと行い熱中症防止に努めましょう！

☆水稻栽培日誌の記帳を行いましょう！



第2回 水稻病虫害発生予察情報 令和6年7月10日調査

調査機関：神戸市西農業振興センター、神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部
兵庫県農業共済組合、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行：JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

【7月10日(水) 病虫害発生状況】

今回の調査では、ウンカ類が少し見られる程度でした。

病気の発生もほとんど見られませんでした。梅雨が続いておりますので、いもち病、紋枯れ病等の病気に注意してください。一部の圃場ではホタルイや藻類が多発していますので、多い圃場については除草剤散布を行いましょ。また、急に大雨が降る場合がありますので、土砂災害などの警戒をしましょ。

適切な中干しを行いましょ！

田植後の生育状況や今後の天候を確認し、目標莖数(20本)の約8割が確保された頃に、田の表面に足跡が残る程度の中干しを行いましょ。無効分げつの発生を抑え、根を健全に深くのばします。

○高温・日照不足・多雨 の場合

もみ数を減らすため、中干しを強めに行いましょ。深水を避けて間断灌水しましょ。穂肥をやや遅らせましょ。いもち病が出やすいので注意しましょ。

○高温・多照 の場合

中干しを短縮し、穂肥をやや遅らせ量を増やし、出穂1週間以降は水を入れ替えて水温を下げるなどの対策をとりましょ。

雑草対策！※詳細は水稻栽培暦を参照

雑草・藻の多発田では、肥料分が吸われてしまったり、水稻の生育を抑制しますので対策を！畔際に多いキシウズメノヒエ、イボクサ、クサネムは、あらかじめ手取りで除草した後に除草剤を散布しましょ。

☆ 中干しがまだの圃場・・・【サンパンチ1キロ粒剤】湛水散布。収穫60日前まで。

☆ ホタルイ多発の圃場・・・【バサグラン液剤】収穫50日前まで。

落水散布又はごく浅く湛水して散布。※高温時薬害注意

☆ 藻類多発の圃場・・・【モゲトン粒剤】湛水散布。収穫45日前まで。

カメムシ類対策 ～早期コシヒカリは草刈りの時期が大切！～

出穂2週間前までに、水田周辺のイネ科雑草の草刈りを完了！

時期が遅れると乳熟期にカメムシ類を田んぼへ追い込んでしまうので注意！！

出穂後5～10日頃 スタークル粒剤(3kg/10a)もしくは
スタークル豆つぶ(250g/10a)で防除しましょ。

* 収穫前日数7日前までの使用時期となります。

出穂前後の水管理が大切です！！

中干し後の水管理は間断灌水で、根の活力を維持しましょ。出穂前後1週間は湛水状態を保ち(高温時は、水を入れ替えて下さい)、以降はもみを充実させるため間断灌水を行いましょ。

☆水稻栽培日誌の記帳を行いましょ！



第1回 水稲病害虫発生予察情報 令和6年6月19日調査

調査機関：神戸市西農業振興センター・神戸農業改良普及センター・JA 全農兵庫県本部
兵庫県農業共済組合・農薬、肥料メーカー・JA 兵庫六甲
発行：JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター

今年も水稲病害虫発生予察が始まりました！管内の圃場を調査し、9月上旬まで2週間に1度、6回の発生予察情報をお届けする予定です。 次回調査日：7月10日(水)

【6月19日(水) 病害虫発生状況】

- ・一部圃場に「ヒメビウンカ」の発生がみられましたが、今のところ発生程度は少ないです。
- ・今年兵庫県病害虫防除所より「ヒメビウンカ」、「いもち病」の発生予想は「**平年並**」と予想されています。置苗は「いもち病」の感染源になりますので、早期に処分して下さい。
- ・「**ジャンボタニシ(スクミリンゴカイ)**」に注意してください。今回の調査でも一部圃場にて発生が見られました。発生地域の拡大を防ぐために、圃場をよく注意して観察し、適切な防除をして下さい。鮮やかなピンク色の卵は水中では孵化しないので、卵塊を見つけたら水中にかき落としてください。孵化直前の赤黒い卵は必ず潰しましょう。

薬剤	適用病害虫	使用時期	10aあたり 使用量	使用回数
スクミン	スクミリンゴガイ	収穫60日前まで	1～4kg	2回以内

【とりこぼし雑草の防除を行いましょ！】

- ・一部圃場において、ホタルイ等の雑草の発生が見られました。手遅れにならないよう、適期に防除を行って下さい。

薬剤	適用雑草	使用時期	10aあたり 使用量	使用回数
アトカス ジャンボMX	一年生雑草、ホタルイ、クログワイ、オモダカ キシユウスズメノヒエなど	移植後14日～ノビエ3.5葉期 (収穫45日前まで)	小包装 20個(500g)	1回
サンパンチ 1キロ粒剤	一年生雑草及び多年生広葉雑草、アオミドロ・藻類に よる表層はく離、キシユウスズメノヒエ	移植後15日～ ノビエ3.5葉期 (収穫60日前まで)	1kg	1回
バサグラン 液剤	一年生雑草(イネ科を除く) ホタルイ、クサネム、オモダカ、クログワイなど	移植後15～55日 (収穫50日前まで)	500～700ml (散布液量 70～100L)	2回以内
モゲトン粒剤	ウキクサ類、藻類(アオミドロ・アミドロ)	ウキクサ類・藻類の発生始～ 発生盛期(収穫45日前まで)	2～3kg	3回以内

※農薬の使用は、必ず農薬容器、袋のラベル等の記載内容を確認し、適正な方法で使用してください。

【今後の水管理】

- ・分げつが進んでいる圃場もあります。田植後の生育状況を確認し、目標茎数の約8割が確保できた頃に田の表面に足跡が残る程度の中干しを行って下さい。土中へ酸素を供給し、根を健全に保ちます。
- ・今後の気温の上昇により「ガス」が湧きやすくなります。ひどい圃場については2、3日落水し「ガス」抜きを行って下さい。

☆水稲栽培日誌の記帳を行いましょ！